

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2021年 2月10日 No. 393

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

第8回 青柳事故研修を開催しました

2月9日、最低気温 -6°C と平年より温かく、積雪が無いなか、中央東線青柳駅において「第8回青柳事故研修」が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため青柳塾生を中心に行いました。マスクの着用や手指消毒、ソーシャルディスタンスを取るなど、例年とは違う形での研修となりました。当日は9名の仲間で安全の碑があった場所などでの研修と、事故発生時刻の9:26に参加者全員で黙祷を捧げました。



職場では23年前の青柳事故の後に生まれた社員も増えてきて、青柳事故自体をよく知らない世代が増えてきました。運輸職場では「新たなジョブローテーション」によりベテランが転勤し、各職場の仕事に精通した先輩がいなくなり、過去の事故から生まれた安全に対する考動の伝承が危ぶまれています。

「長野冬季オリンピックを成功させるために何でもあり」の状況下で青柳事故は発生し、1人の尊い命が失われました。事故発生後、青柳駅に「安全の碑」を作り、教訓を生かし、二度と同じ事故を起こさせない、仲間や家族に二度と悲しい思いをさせないために「青柳事故」を伝えてきました。私たちは今後も現地に立ち、1人でも多くの仲間に青柳の地に立ってもらい、実態を伝えて命を守り続けていきます。



青柳事故をから23年、事故を風化させず職場から「安全」をつくり出そう!